



広く世界に 雄飛する ロマンを求めて

佐川町立黒岩小学校

令和4年度版

校庭にある「愛郷雄飛の像」は、小学校で学ぶ児童に、絶えず広く世界に雄飛するロマンを求めるとともに郷土を愛することのできる人間への成長を期待するシンボルとして、黒岩地域住民の総意として建てられたものです。

今、黒岩小学校で力を入れて取り組んでいることを、以下に紹介します。

〇ICT活用力の育成

本校では、授業でのICT活用に積極的に取り組んでいます。1人1台のタブレット（iPad）を文房具の1つとして活用し、疑問・関心を持ったことをインターネットで調べたり、調べたことをまとめて整理・発表したりしています。基礎・基本を着実に身につけるタブレットドリル学習にも積極的に取り組んでおり、その成果も現れています。

5年生は、NPOみんなのコードの実践研究「学びの作品化プロジェクト」に参加し、プログラミングによる作品づくりに取り組んでいます。アニメーションやゲームの要素を取り入れ、1学期に学習した「黒岩城」を紹介する作品を作っています。作品づくりをする中で、試行錯誤を繰り返すことで主体的な学びを生み出すとともに、うまくいかない原因を探ったり新しい手法を獲得したりすることを通して対話的な学びを実現しています。

愛郷雄飛の像が目指す「世界に雄飛するロマン」には、学ぶ意欲と探究する力が必要です。黒岩小学校の教育で、その力を着実に付けていきたいと考えています。

〇社会参画力の育成

愛郷雄飛の像が目指す「郷土を愛することのできる人間への成長」のためには、郷土を深く知ることが大切です。そこで本校では、地域を舞台に地域から学ぶ学習に積極的に取り組んでいます。佐川キュウリ・イチゴ・米などの栽培活動を行ったり、瑞応盆踊り・四ツ白太刀踊りなどの伝統芸能を体験したりしています。

今年度、黒岩のこどもの未来を考える会（学校運営協議会）で出された意見を踏まえ、戦国時代に学校近くに存在した「黒岩城」の学習を行いました。（裏面参照）

郷土愛を育むためには、体験をしたり知識を得るだけでは不十分で、地域の一員として社会に参画する力を育むことが必要だと考えています。黒岩城学習では、学んだことを活かし、2040年の黒岩地域を守るためアイデアの発表を行っています。



裏面も見てね

2040年の 黒岩地域を守るために

本年度の総合的な学習では、3～6年生が合同で、戦国時代に学校近くに存在した「黒岩城」について学習しました。学習コーディネーターをしていただいた高知大学次世代地域創造センター・川村晶子特任教授のご指導のもと、専門家や地域の方から黒岩城について学んだことを活かし、2040年の黒岩地域を守るアイデアを提案しました。以下にそのアイデアを紹介します。

「ワクワク！私の未来の高知県」

チーム名 カーニャ

- ・自然の中にゴミが無い、豊かな黒岩にしたい。
- ・AIが自動的にゴミを回収して捨ててくれることで、黒岩の自然が守られる。
- ・将来の黒岩も自然が豊かで、ゴミが無く、川に生き物が残っていて欲しい。
- ・盆踊りが450年前から今でも受け継がれているように、自然豊かな黒岩がこれからも残っていて欲しい。

「ぼくは医者、AIとかで体の調子を調べて命を守る」

チーム名 blood Doctor

- ・戦国時代は、行き来ができるように川沿いに城を建てていた。後ろが山だから攻めにくい。
- ・攻めにくくするトラップは、今でも残っている。
- ・未来も、平和で幸せいっぱいの黒岩であって欲しい。そのために、特産物の種類を増やして、黒岩の良いところをもっと知ってもらいたい。
- ・みんなを笑顔にしたい。

「僕は工夫して・・・世界を守る」

チーム名 地球を守る

- ・戦国時代のように、戦争をせずに黒岩を守る。
- ・黒岩城は、領民が避難するために作られた。
- ・豊かでケンカが無い黒岩、果樹園や水田がたっぷりの黒岩であって欲しい。
- ・盆踊りは450年前から続いていて、平和な世の中であることを神様にお礼をしている。これからも、まだまだ続いて欲しい。

「私は中型ドローンでみんなを幸せにする」

チーム名 コローン

- ・病気で寝込んでいる人のために、ドローンを家族が操縦して、買い物に行きあげてくれる。農業にも使える。物を運んでくれると、おじいちゃんやおばあちゃんが喜ぶ。
- ・黒岩城の横に黒岩新町があり、とても栄えていた。40軒くらいの店があった。
- ・盆踊りは、みんなでゆっくりと踊るところが魅力。

「黒岩の自然破壊をロボットで守る」

チーム名 Nice City

- ・ロボットで、自然破壊を守る。ロボットが、自然破壊の元になるものを拾ったり吸ったりする。
- ・黒岩城の城主は片岡氏。群馬県から来ている。15代まで続いている。
- ・盆踊りは、450年前から1年も欠かさずに踊られている。無くなったら悲しい。これからも続けて欲しい。
- ・自然豊かな黒岩でいて欲しい。

「ロボットで黒岩を守れ」

チーム名 ライフイージャー

- ・昔の黒岩のように争いが無く、ロボットに助けをもらう。みんなが笑顔で、楽な生活ができる。
- ・黒岩城は村人を守るために作られた。堀は、敵が登って来れないようにする仕掛け。他にも、土塁や曲輪がある。
- ・黒岩城の城主・片岡茂光が亡くなったとき、弔うために始めた盆踊りが今も続いている。
- ・未来の黒岩は、人口が増え、子どもがたくさんいて欲しい。

450年前に黒岩城を拠点として平和な地域が築かれていたことを未来に活かすために、子どもたちなりにアイデアを練り上げました。

このリーフレットに関するご意見・ご質問は、佐川町立黒岩小学校 にお寄せください。

Tel: 0889-22-9325

E-mail: kuroiwaes-01@town.sakawa.lg.jp